



NIMS eSciDoc, SAMURAI and Future Services

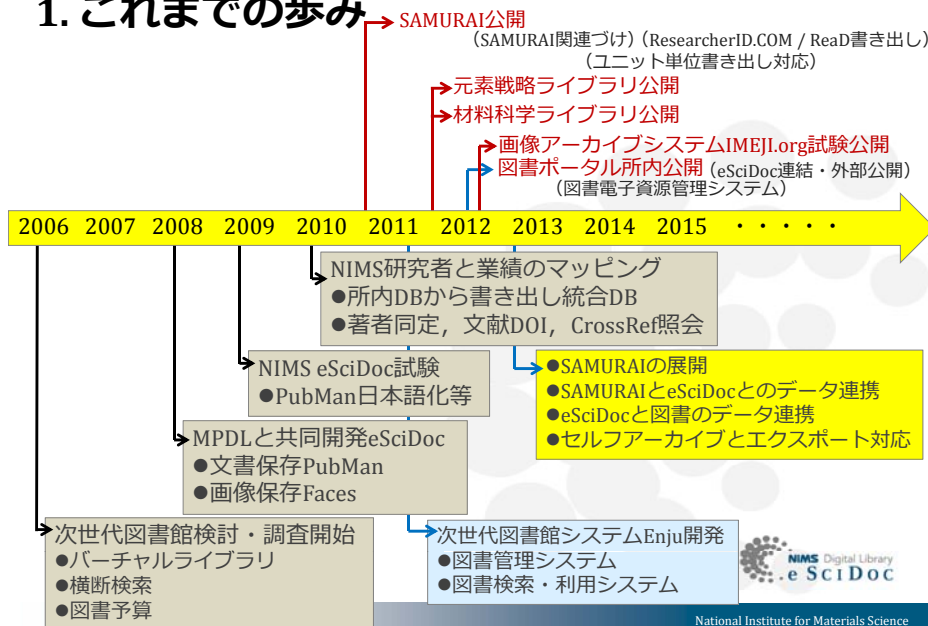
高久雅生 / Masao Takaku
 物質・材料研究機構 科学情報室
 2011年10月13日
 第2回eSciDoc.JP Workshop@NIMS千現地区

目次

1. これまでの歩み
2. 研究情報基盤としてのNIMS eSciDoc
3. 設計コンセプト
4. サービス基本 – NIMS研究論文と研究者を結びつける
5. サービス展開
 1. 研究者個人を外部から検索可能とする
 2. 研究者個人/全員を外部サービスでも閲覧
 3. 研究テーマのまとまりで外部へ見せるアウトリーチ
 4. 研究データをセルフアーカイブし引用可能とする
 5. 研究内容から関連性を表現する
6. 今後の展望とまとめ



1. これまでの歩み

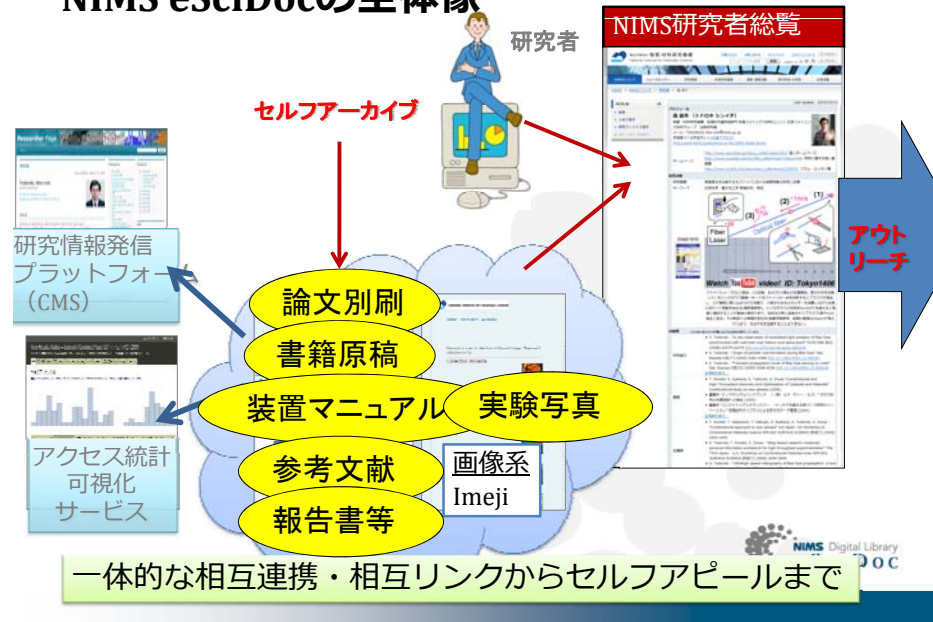


2. 研究情報基盤としてのNIMS eSciDoc

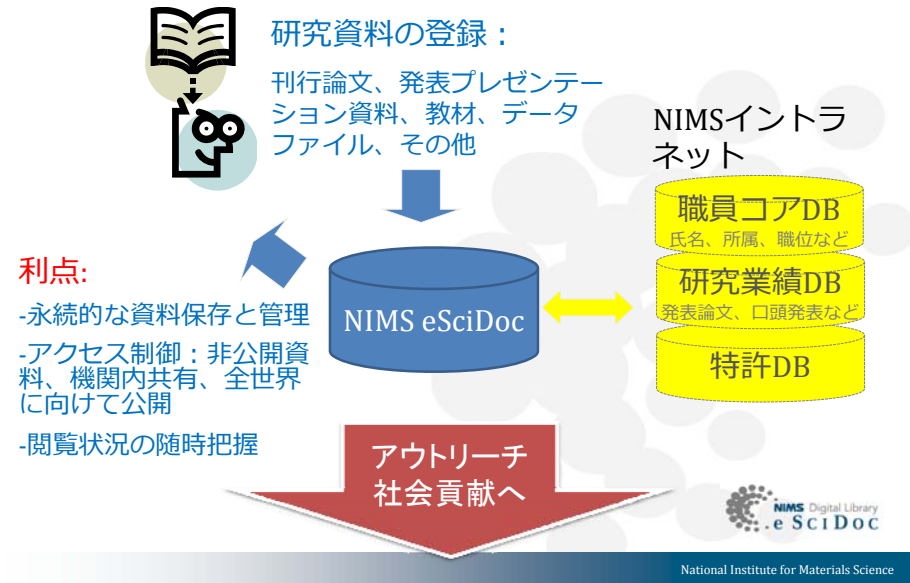
- 学術情報流通のなかで相補的役割
 - 成果公刊情報の保存・蓄積と公開
 - 「セルフアーカイブ」プラットフォーム
 - 刊行文献だけでカバーできない情報を保存・提供
 - 特殊コレクション (寄贈資料等)
- デジタルライブラリとして所内外と多様な連携
 - 研究者総覧 SAMURAI
 - ResearcherID
 - ReaD&Researchmap, KAKEN etc.
 - 図書情報ポータル (OPAC)
 - 研究発表許可願システム
 - 職員コアデータベース



NIMS eSciDocの全体像



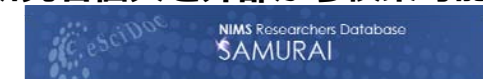
3. 設計コンセプト



4. サービス基本 – NIMS研究論文と研究者を結びつける (ItemID - AuthorID - 参照URL)

1. 研究者の一回の入力で、多様な出力を可能にする。
 2. 機構内の各所轄DBの統合による、常に新しく、正確な情報を出力する。
 3. 出力情報には、外部データベースサービスやオンラインジャーナルへの参照リンクをつけ、概要または本文の閲覧ができるようにする。
 4. 出力した外部サービスに対するアクセス状況は、研究者自身がモニタできるようにする。
 5. 機構内利用においては、NIMS研究成果として本文閲覧を可能にする。
 6. 情報処理により、材料科学研究ならではの特徴を「見える化」する仕掛けをつくる。例：類似キーワード研究者など
- NIMS Digital Library e SciDoc

5. サービス展開 1 – 研究者個人を外部から検索可能とする



- 研究所にどんな研究員がいるか、その情報を公開して、ひろく共同研究相手を探したりなどしてもらうための公開サービス
 - 【運用方針】 SAMURAIは政府系研究機関としての研究成果の公開、およびアウトリーチの一環として行う。(2009年10月理事長決定)
- 2010年10月に一般公開
- 公開の対象：約500名 (2011年10月現在)
 - 定年制研究職, エンジニア職
 - 任期制研究職のうち、招聘研究員・特別研究員・キャリア形成職員
 - 公開対象者が退職する時、本人希望がある場合 (退職と付記して表示)
- 公開する成果物
 - 評価室に登録する研究成果
 - セルフアーカイブする研究資料 (前職での研究成果や著作物含む)
 - 公開特許 (本文リンク含む)

独立行政法人 物質・材料研究機構
National Institute for Materials Science

個別研究者ページ
氏名や所属、職位、連絡先（メール・電話番号・URL等）のプロフィール情報に加え、顔写真や研究紹介、キーワード・概要、研究成果文献を一覧

研究者
→ 検索
→ 人名で探す
→ 研究ユニットで探す
→ 論文で探す (準備中)

プロフィール
長谷 正司 (ハセ マサシ)
物質・材料研究機構 炭素の先端技術部門 量子ドームユニット 中性子散乱グループ 主任
研究員
メール: HASE.Masashi@nims.go.jp
電話: 029-859-2423
茨城県つくば市千塚1-2-1 [英語アクセス]
Find overall NIMS publications on the NIMS digital library
小 ムベ シ http://www.nims.go.jp/nsg/index.html 量子ドームユニット 中性子散乱グループ

研究分野
・粉末X線・中性子回折による元素材料の構造解析
・X線・中性子小角散乱法 (SAXS, LANS) の種々の金属材料への応用: 流動する磁性液体内部の要素化ナノ粒の形状やサイズ、分散状態を決定

研究概要
Antiferromagnetic materials; Inelastic neutron scattering; Magnetization; Parameter estimation; Quantum theory

キーワード
In this paper, we could not reproduce well the experimental susceptibility and

独立行政法人 物質・材料研究機構
National Institute for Materials Science

研究者一覧ページ
各所属ユニット毎、氏名よみ順でのNIMS研究者の一覧ページを用意

研究者
→ 検索 (準備中)
→ 人名で探す
→ 研究ユニットで探す
→ 論文で探す (準備中)

国際ナノアーキテクトニクス研究拠点(MANA)

氏名	研究ユニット	キーワード
青野 正和	国際ナノアーキテクトニクス研究拠点(MANA)	薄膜・表面界面物性 電子デバイス・電子機器 無機材料・物性
青柳 隆太	領域コーディネーター	刺激応答性材料、DDS、再生医学
荒川 秀雄	国際ナノアーキテクトニクス研究拠点(MANA) ナノシステム分野ナノシステム構築グループ	
荒船 竜一	国際ナノアーキテクトニクス研究拠点(MANA)	
有賀 克彦	国際ナノアーキテクトニクス研究拠点(MANA)	ナノ材料・ナノバイオサイエンス
アッシュラフレイ スラム	次世代太陽電池センター	Organic/inorganic interface, Photochemistry and Photovoltaics
魚崎 進平	国際ナノアーキテクトニクス研究拠点(MANA)	

独立行政法人 物質・材料研究機構
National Institute for Materials Science

研究者検索
各研究者の氏名やキーワード、研究紹介テキストをもとにNIMS研究者を探せる

研究者
→ 検索
→ 人名で探す
→ 研究ユニットで探す
→ 論文で探す (準備中)

キーワードで研究者を探す: LED

このページでは、NIMSに所属する研究者と研究内容を調べることができます。

研究者の氏名(漢字、読みかな、英字表記)、所属グループ名、研究キーワード、研究紹介冊子版PDF、発表文獻タイトルから検索を行います。

LED

19名の研究者にヒットしました

氏名	研究ユニット	キーワード
山崎 尚登	環境・エネルギー材料部門 サイアロンユニット	白色LED、波長バツライト、固体照明
陸 崇志	環境・エネルギー材料部門 サイアロンユニット	機能材料・デバイス応用物性、起電力 無機材料・物性
小泉 聡	環境・エネルギー材料部門 光・電子材料ユニット	機能材料・デバイス応用物性、液晶工学 薄層・表面界面物性 電子デバイス・電子機器 無機材料・物性
長谷 正友	環境・エネルギー材料部門 半・量子材料ユニット	UVセンサー、LED、太陽電池

独立行政法人 物質・材料研究機構
National Institute for Materials Science

プロフィール編集
自分自身のプロフィールや研究紹介などいつでも編集して更新できる。

研究者総覧
→ Webイメージ
→ フォーマット指定出力
→ 規定テンプレートへの出力
編集対象者選択
Policy & Guide
→ 問合せ
→ ログアウト

編集 (Selected 1/1)

保存 & Webイメージ表示 中断 & Webイメージ表示

本編集機能では、人事・評価に関する情報の修正はできません。情報に誤りがある場合は問い合わせ下さい。 > 問合せフォームへ
各項目に用意したチェックボックスにチェックを入れると、NIMSホームページで表示されません。

プロフィール

*印は人事データベースから抽出された項目です。

高久 雅生 (タカク マサオ)

企業部門-科学情報室

メール (default): TAKAKU.Masao@nims.go.jp (optional): [編集] tmasao@acm.org

電話 (default): 029-859-2813* [編集] Label (optional): [編集] Number (optional):

顔写真 File: [選択...] [差換えできます。]

職位 主任エンジニア

所属: 本務 企業部門-科学情報室

所属: 供任先(1) [編集]

所属: 供任先(2) [編集]

所属: 外部機関所属先 (optional) [編集]

ホームページ 1 (optional) [編集] URL: http://masao.jpn.org [編集] Label:

ホームページ 2 (optional) [編集] URL: [編集] Label:

ホームページ 3 [編集] URL:

5. サービス展開 1 – 研究者個人を外部から検索可能とする

SAMURAIデータの典拠

- 所内
 - 人事課 – 職員・所属・職位・職制
 - IT室 – 職員・英語名称 (人名・所属・職制)
 - 評価室 – 職員・論文書誌情報 (タイトル、著者名 (共著者)、所属、雑誌名、DOI, Volume, Issue, Page, 別刷PDF)
 - 連携推進部門 – 研究紹介冊子版
- 外部
 - CrossRef – 英語論文書誌・DOI
 - 特許庁 – 特許書誌・本文
 - ReaD – 日英キーワード
 - JDream – 日本語文献書誌
 - ResearcherID.COM – (ORCID対応を視野) SAMURAI・研究者番号と対応
- 上記データを科学情報室にて統合
 - 統合DB (Profile, Publication list)、人名DB (異体字やペンネーム対応づけ)、共著者DB、eSciDocマッピング、書き出し機能 (所内利用、外部提供(API))

利用者呼び込む仕掛け

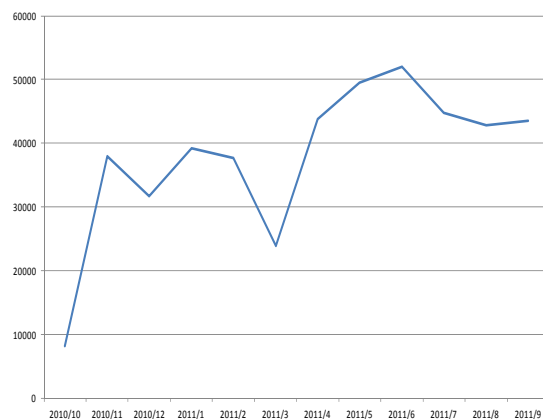
例えば、リッチスニペット (Google)

村上 秀之 | NIMS
samurai.nims.go.jp、NIMSについて、研究者 - キャッシュ

グループリーダー - 物質・材料研究機構
 村上 秀之 (ムラカミ ヒデユキ). 物質・材料研究機構 環境・エネルギー材料部門 先進高温材料ユニット 高温表面キネティクスグループ グループリーダー. メール: MURAKAMI.Hideyuki@nims.go.jp. 電話: 029-859-2560. 茨城県つくば市千現1-2-1 [交通 ...]

National Institute for Materials Science

SAMURAIの普及評価 – アクセス傾向



2010年10月公開から一年経過、アクセス数累計(2011/09末時点)で454,843 アクセス



6. サービス展開 2 – 研究者個人/全員を外部サービスでも閲覧可能とする (ResearchID.com, ReaD&Researchmap, KAKEN)

Researchのための機関リポジトリの新展開

特許

- 特許4035616号 “光結合構造の作製方法および作製装置” (2007)
- 特許3870270号 “光ヒューズおよび光ヒューズ作製用部品” (2006)
- 特許3619873号 “ガラス複合体作製方法およびガラス複合体作製装置” (2004)

外部参照

- [NIMS eSciDoc Researcher Portofolio](#)
- [JST ReaD](#)
- [KAKEN / NII Researcher Name Resolver](#)
- [ResearcherID.COM](#)
- [Google Scholar](#)

NIMS eSciDoc内のポートフォリオ
 JST ReaD
 KAKEN / NII研究者リゾルバ
 Researcher ID
 Google Scholar

ResearcherID へのアップロードサービス

- XML (プロフィール、論文業績) による一括アップロード
- 機関管理者が所属研究者分をまとめてアップロードできる
- 研究者同定：メールアドレスベース
 - アカウント登録者：既登録者にマッチしたら、職員情報として登録
 - アカウント未登録者：メールアドレスを使って登録
- NIMSの場合
 - XMLスキーマと所内人事DB・業績DBとマッピング
 - 自動アップロード用簡易ツールを開発
 - 本人に代わり一括アップロードし、研究者本人による確認を経て、公開
 - (→ 2011年内を予定)



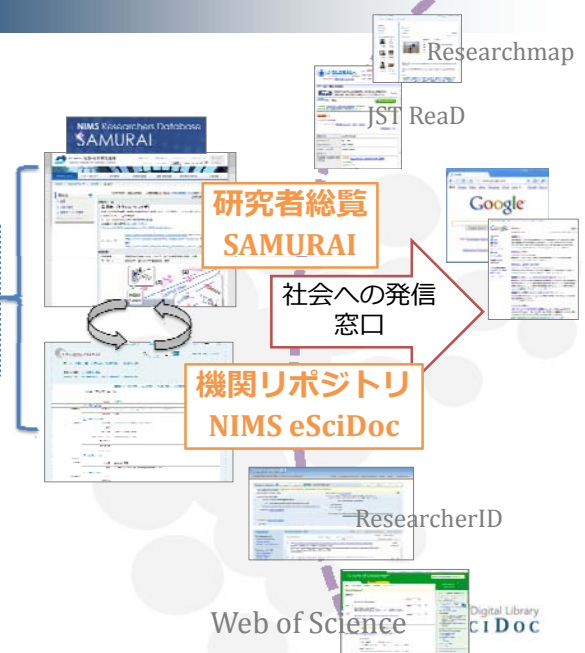
所内研究職員の
網羅的な情報
(随時更新)

職員コア
DB

研究発表
許可願
システム

所内研究職員に
よる研究発表情報
(随時更新)

所内の
職員コアDB・
研究発表許可
願システム
と連携

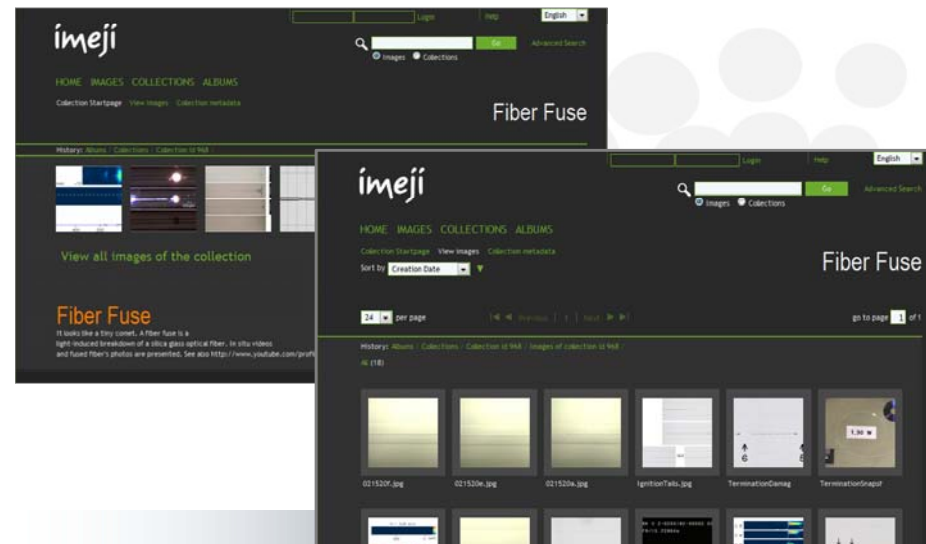


7. サービス展開3 - 研究テーマのまとまりで外部へ見せるアウトリーチ (Collection)

セルフアーカイブした研究資料や成果を外部へ見せる (情報発信)

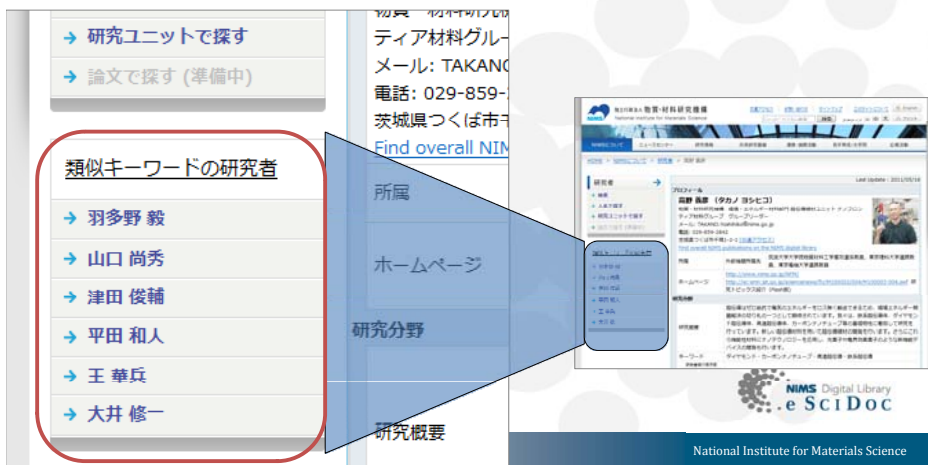


8. サービス展開 4 – 研究データをセルフアーカイブし引用可能とする (Imeji)



9. サービス展開 5 – 研究内容から関連性を表現する (More like you?)

- 検索機能の強化：共著関係、キーワード類似性を使って、類似キーワードによる関連性からナビゲートする機能を開発中



10. 今後の展望 – eSciDocを使い込む

研究現場のニーズに応える出力用インターフェースの整備

- 研究現場での様々な出力用途に答えるインターフェースを整備
- 機構情報をあますところなく活用し、従来の手作業の効率化、更新性を高める
- 研究現場からのアウトリーチ、研究資金の申請など、研究成果情報を内外に出力(公開)することが様々な場面で必要
- 情報基盤の利活用の視点

まとめ

- 研究情報基盤サービスとしてのNIMS eSciDoc
 - セルフアーカイブ、コレクション搭載からの展開
- 研究者総覧SAMURAI
 - アウトリーチに資する研究者プラットフォーム
- 所内外とのさらなる連携を目指した展開
 - ResearcherID, Read&Researchmap, KAKEN etc.
 - CV出力サービス
 - 図書ポータルサービス連携

